

# プログラミング授業委託プロポーザル 評価票

| No | 観点        |            | 各観点の説明   | 配点  |
|----|-----------|------------|--|-----|
| 1  | 実績        | 事業者        | 過去5年以内に、講師派遣・委託請負業として本事業と同じ、または類似する事業の実績はあるか。地方公共団体での実績が複数回以上あることが望ましい。  | 30  |
| 2  | 人材        | 資格         | 担当予定の講師は本事業の品質を高めるにあたり有効な資格を保有しているか。<br>例：「教員免許」等教育に関する資格、「ICT支援員認定試験」等学校ICTに関する資格、その他本事業を実施するにあたり有効と思われる資格  | 60  |
| 3  | 人材        | 経験         | 担当予定の講師は本事業の品質を高めるにあたり有効な経験（授業の経験回数や教員・児童とのコミュニケーションがとれる技術、等）を有した人材であるか。   | 120 |
| 4  | 組織体制      | 柔軟性        | 学校の都合により予定変更が生じた場合、柔軟な対応が期待できるか。   | 30  |
| 5  | プログラミング教育 | 実施体制       | 事故・ケガ等が発生しないよう配慮がなされているか。  | 30  |
| 6  | プログラミング教育 | 実施予定カリキュラム | プログラミングの実体験を、参加した児童全員が等しく体験できるような工夫がされているか。  | 60  |
| 7  | プログラミング教育 | 実施予定カリキュラム | <p>学習指導要領におけるプログラミング教育のねらい、</p> <p>①「プログラミング的思考」を育むこと<br/>②プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることなどに気付くことができるようにするとともに、コンピュータ等を上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと<br/>③各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、各教科等での学びをより確実なものとする</p> <p>に沿ったものとなっており、それぞれを達成できるような工夫があるか。</p> <p>※③については、教科と組み合わせる実施できる工夫があるかどうかなどについて評価します。（配点の目安 ①、②、③各10点 計30点満点）</p> | 180 |
| 8  | プログラミング教育 | 実施予定カリキュラム | 前項以外に、子どもたちの育成に寄与するものがあるか。   | 60  |